

2020年3月20日

No. 6 2 0

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤純一
印刷所 (株) 第一印刷

川俣シャモ振興会がJGAP団体認証を取得 —肉用鶏の団体認証は全国初—

福島県県北農林事務所

令和2年2月21日、福島県ブランド認証産品「川俣シャモ」を生産する14農場の団体である「川俣シャモ振興会」がJGAP家畜・畜産物の団体認証を取得しました。

認証取得は、JGAP家畜・畜産物の団体としては県内初であり、肉用鶏での団体認証としては全国初の快挙となりました。

1 取組の経緯

川俣シャモ振興会では、各農家のレベルや製品の品質を底上げするためにGAPの導入が有用であると考え、会員全員での団体認証取得を目指し、令和元年7月から本格的にGAPへの取り組みをはじめました。必要書類の作成や鶏舎環境を整備し、団体事務局による内部監査を経て、令和2年1月に審査を受審、令和2年2月21日に認証となりました。

2 取組の概要

(1) GAP取組への合意形成

平成29年12月、川俣シャモ振興会主催の農家勉強会において、県北家畜保健衛生所によるGAPの概要説明と取組への誘導が行われましたが、この段階では、農家全員がGAPが求める農場管理の手法を導入することが難しいとの考えもあり取組に躊躇していました。しかし、平成31年3月にJGAP団体認証（家畜・畜産物）の審査体制が整い、さらに、この時期が東京オリンピック・パラリンピックでの食材提供を目指すギリギリの時期であったこと、また、第三者認証GAP取得等促進事業の活用もあり、令和元年6月に川俣シャモ振興会全員の合意形成が得られ、川俣町や関係機関とともに年度内のJGAP団体認証取得に向けて取り組むこととなりました。

(2) 団体事務局の設置

川俣シャモの出荷先であり、加工・販売を担う(株)川俣町農業振興公社を団体事務局とし、令和元年5月に職員3名がJGAP指導員資格を先行して取

得、9月に団体認証研修も受講し、組織運営及び内部監査等を行う体制が整いました。

(3) コンサルタントや関係機関による指導・支援

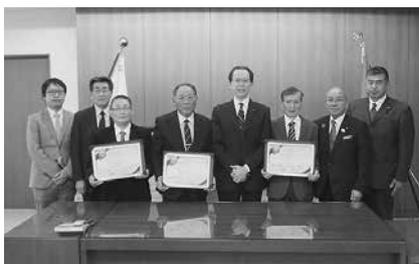
これまでJGAP団体認証（家畜・畜産物）導入事例がなかったことから、経験豊富なコンサルタントに依頼して月1回の現地指導を仰ぐとともに、家畜衛生対策を専門とする県北家畜保健衛生所の獣医師や青果物でのJGAP団体認証導入を支援した経験のある当事務所の普及指導員が主導し、救急救命研修の開催、生産環境の確認とリスク評価のための農場巡回、必要書類の作成と台帳の整備、波及効果を狙ったモデル農場の設定等を行い、認証取得に向けて関係者一丸となって取り組みました。

また、川俣シャモ振興会では、GAP導入以前から、農業総合センター畜産研究所が作成した『「川俣シャモ」飼育マニュアル』に基づく管理を行っており、飼料給与や衛生管理方法は農場間で統一されていたことが、短い期間での団体認証取得につながったものと考えられます。

3 今後の展開

川俣シャモの世界一長い丸焼きが有名な「川俣シャモまつり」は5月2日(土)、3日(日・祝)、川俣町中央公民館での開催が予定されております。

当事務所としましては、川俣シャモ生産農家が今後も継続してGAPに取り組むことができるよう、引き続き支援を行い、更にGAPの認知度を高めるため、「川俣シャモまつり」での消費者向けPR等も展開していきます。



知事表敬訪問



川俣シャモ振興会

令和2年度主要事業について (福島県畜産課分)

福島県農林水産部畜産課

1. 福島牛改良基盤再生事業【肉用牛】

肉用牛の改良を促進し「福島牛」の品質向上を進めることで、風評に負けないブランド力強化を図り、畜産の復興を加速させるため、効率的・効果的な種雄牛造成を継続するとともに、生産基盤の長期安定化を図るため、遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛の導入を支援します。

(1) ゲノミック評価推進事業

ア 内容

基礎雌牛の整備、計画交配の推進、種雄牛候補の選定、現場後代検定、ゲノミック評価の実施、性別精液の活用

イ 事業費

34,778千円

(2) 遺伝的多様性向上事業

ア 内容

特定の種雄牛を祖先に持たない能力の高い繁殖雌牛の導入を支援

イ 事業費

6,000千円（補助金600千円×10頭）

事業内容



2. 第12回全国和牛能力共進会出品対策事業【肉用牛】

和牛界のオリンピック的位置づけにある本共進会において、優秀な成績を収めるため、県は優秀な種雄牛候補を出品するとともに他部門の出品へも積極的に関与し、県内関係者一丸となって、肉用牛振興及び復興に取り組めます。

(1) 全共対象種雄牛交配支援事業

ア 内容

全共出品条件を満たす雌牛に「勝忠安福」を交配した農家に対し、交配協力金を交付。

イ 事業費

3,500千円（交配協力金10千円×350頭、対象区：第2、3、6区）

(2) 高能力牛群整備事業

ア 内容

農家が保有する高能力な雌牛や地域で受け継がれてきた遺伝資源を残し、各地に拡大するために高能力

力雌牛等からの受精卵生産を支援する。

イ 事業費 2,000千円（補助金100千円×20頭）

事業内容

○全共対象種雄牛交配支援事業

全共出品条件を満たす雌牛に「勝忠安福」を交配した農家に対し交配協力金を交付

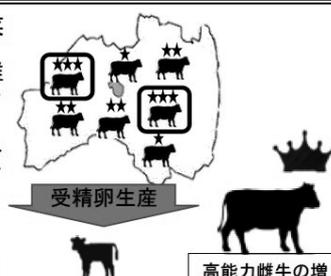
交配協力金 10千円
第2区：100頭
第3区：100頭
第6区：150頭



○高能力牛群整備事業

農家の保有する高能力な雌牛や地域で受け継がれてきた遺伝資源を残し、各地に拡大するために高能力雌牛からの受精卵生産を支援する。

受精卵生産 100千円



3. 福島牛ブランド力向上対策事業（新規）【肉用牛】

福島牛を全国トップレベルのブランドにするため、先端技術であるゲノミック評価を、種雄牛の造成に加えて、繁殖農家が飼養する繁殖雌牛にも応用し、脂肪交雑等の経済形質に優れた種雄牛造成の取組を一層加速させるとともに、脂肪酸組成に係る既存知見の活用により、「おいしさ」に優れた牛肉の生産技術に活用していくことで、福島牛のブランド力強化を図ります。

ア 内容

ゲノミック評価研究機器を整備し、種雄牛造成におけるゲノミック評価に利用するとともに、令和3年度からの繁殖雌牛のゲノミック評価実施に向けた準備を行う。

イ 事業費

53,031千円（ゲノミック評価機器導入費用、設置場所：農業総合センター畜産研究所）

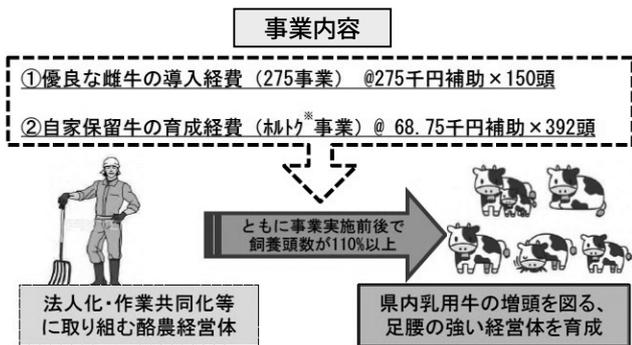
4. 法人化・共同化農場増頭対策事業【酪農】

一経営体当たりの飼養頭数増加により生乳生産量の安定確保を図るため、「増頭により復興を目指し、法人化または飼養管理作業等の共同化により酪農生産基盤強化を図る経営体」に対して、初妊牛の外部導入及び自家保留による増頭経費を補助します。

(1) 内容

- ア 乳用初妊牛の導入経費の補助
- イ 自家保留牛の育成経費の補助

(2) 事業費 68,200千円



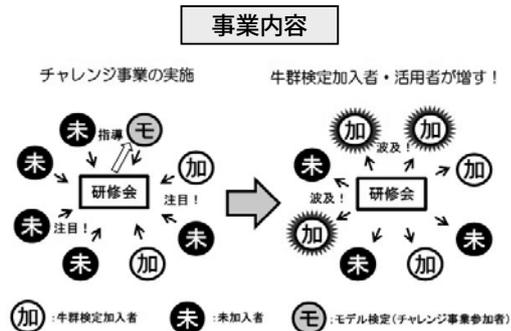
5. 次世代酪農家育成・乳量UPチャレンジ事業【酪農】

酪農経営が持続的に発展していくためには、経営能力の向上が不可欠です。そのため、次代を担う酪農後継者組織が行う、規模拡大を誘導する「経営研修」と生産管理データを活用した飼養管理能力を身につける「モデル検定及び検定研修」の実施を支援します。

(1) 内容

経営研修、モデル検定経費等の一部補助

(2) 事業費 1,750千円



6. 粗飼料生産・放牧拡大推進事業【飼料】

原子力災害により本県の飼料生産基盤は著しい損害を受けましたが、この間の農地・牧草地除染の進展、及び各地における飼料生産組織の設立・生産拡大を通じ、徐々に回復の兆しが見えつつあることから、これらの動きをさらに発展させるため、飼料生産組織の更なる機能強化や、放牧頭数・面積の回復・拡大を図ります。

(1) 内容

ア 地域自給飼料品質向上支援

飼料生産組織等が実施する自給飼料の高品質化・品質安定化に向けた取組に必要な経費の補助

イ 放牧再開支援

牛の放牧の再開または新規取組に必要な経費の補助

(2) 事業費 5,622千円

事業内容

1 地域自給飼料品質向上支援

飼料生産基盤の回復及び新技術の普及を目指し、畜産農家や飼料生産組織等が実施する自給飼料の高品質化・品質安定化に向けた取組を中通り、浜通りを中心に定着

①高品質粗飼料拡大対策

- ・内容：県奨励品種の導入、生産履歴管理対策(ラベルプリンター)、品質保持・向上対策(乳酸菌添加剤等)、土壌成分分析、飼料作物成分分析
- ・補助率：1/2以内(ただし上限412千円/事業実施主体以内)
- ・所要額：3,708千円(412千円×9事業実施主体)

事業内容

2 放牧再開支援

国・県等試験研究成果を参考として、除染済みの水田や放牧地を利用した安全な放牧再開の増加を支援

①水田放牧メニュー

- ・補助率：定額(ただし上限954千円/事業実施主体以内)
- 内容：放牧に向けた整備(牧草の品種選定、電気柵等)
- ・所要額：954千円(954千円×1事業実施主体)

②一般放牧メニュー

- ・補助率：定額(ただし上限480千円/事業実施主体以内)
- 内容：放牧に向けた整備(牧草の品種選定、電気柵等)
- ・所要額：960千円(480千円×2事業実施主体)

きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250 TZ

動物 未来 みつめる ひろがる

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL : www.zenoaq.jp

福島県養蜂協会 第75回定期総会開催

福島県養蜂協会

第75回定期総会を、2月19日(水)郡山市磐梯熱海のホテル華の湯において開催しました。

長沼久雄会長の挨拶の後、昨年8月に開催された第32回福島県はちみつ品評会で最高賞の農林水産大臣賞を受賞した郡山市の松岡休助氏をはじめ各受賞者の表彰が行われました。

また、来賓としてご出席いただいた福島県議会副議長長尾トモ子様、福島県畜産課長 森口克彦様より祝辞をいただきました。

出席した43名の会員により令和元年度の事業報告および令和2年度の事業計画などが原案どおり承認され、任期満了に伴う役員改選では長沼久雄会長、近藤義孝副会長が再任、池澤洋一理事が副会長に新任しました。

定期総会終了後には、研修会「HACCP制度化とふくしまHACCPについて」を開催し、HACCP義務化に向けた取り組みについて多くの意見が出されていました。



表彰式（農林水産大臣賞、松岡休助さん）

福島県酪農青年研究連盟主催 第67回酪農発表大会・酪農講演会 (第4回酪青連酪農後継者支援研修会) 開催

福島県酪農業協同組合

福島県酪農青年研究連盟（会長 斎藤 忠義）主催の第67回酪農発表大会・酪農講演会（第4回酪青連酪農後継者支援研修会）を、2月20日(木)郡山市熱海町「磐梯熱海温泉清稜山倶楽部」にて開催しました。この大会は、県内各地の優秀な酪農経営の成果を発表し、それに基づく意見交換を行い、これによって酪農経営の合理化、そして近代化を推進して、本県酪農発展に資することを目的として開催しています。当日は、会員・関係者約80名が参加し、盛会となりました。

はじめに、県南酪農研究会の清水 大翼さんより「ゼロからの牧場作り～明日への翼～」という題で発表して頂きました。

次に、全農酪農同志会の遠藤 直人さんより「酪農へルパーの経験を生かした酪農経営～个体効率の追求～」という題で発表して頂きました。

どちらの発表も、発表者のお二人の酪農に対する熱い想いが伝わってくる素晴らしい発表でした。お二人の今後一層の活躍をお祈り申し上げます。

発表大会終了後、酪農講演会（第4回酪青連酪農後継者支援研修会）が行われました。講師に、広島大学大学院統合生命科学研究科 准教授 杉野 利久先生をお迎えし「移行期飼養管理の重要性～母牛の状態は子牛にも影響する～」と題し、分娩前の移行期飼養管理についてご講演いただきました。



清水 大翼さん



遠藤 直人さん

トウモロコシ子実サイレージ発酵混合飼料の乳牛への給与実証試験の紹介

【背景とねらい】

被災地域（浜通り地域）では表土はぎ除染による地力の低下、避難等に伴う担い手の減少から持続的営農再開が困難となっており、持続的営農再開のためには、大規模水田の輪作体系構築技術の確立と除染後農地の地力回復技術の確立が緊急の課題となっています。

そのような状況のなか、子実用トウモロコシが注目されています。



図1 混合飼料原料の破碎トウモロコシ子実



図2 トウモロコシ子実入り発酵混合飼料

福島県農業総合センター畜産研究所

子実用トウモロコシは、茎葉等有機物の土壌還元が可能であり、国産濃厚飼料として国内でニーズが高まっていますが、県内では一般的に栽培・利用がされていません。そのため子実用トウモロコシの利用拡大を図ることを目的とし、乳用牛の飼料としてトウモロコシ子実サイレージ発酵混合飼料（試験区）は慣行発酵混合飼料（対照区）と比較して同等であるか実証試験を行いました。

表1 1頭あたりの配合量（現物 kg）及び乾物摂取量（kg/日）

	試験区	対照区
トウモロコシ子実サイレージ	3	0
市販配合飼料	4	8
大豆粕	1	0
所内産グラスサイレージ	11	10
所内産トウモロコシサイレージ	9	10
ルーサン乾草	3	3
炭酸カルシウム	0.2	0
乾物摂取量	21	21

注1) 大豆粕：CP調整用
注2) 炭酸カルシウム：カルシウム調整用

表2 TMRの栄養成分（乾物%）

	試験区	対照区
水分	41.1	40.8
CP	16.3	16.1
TDN	66.5	66.8
ADFom	26.6	27.7
NDFom	44.4	41.0
Ca	0.8	0.8
P	0.5	0.5

表3 発酵混合飼料（TMR）給与前後の泌乳成績

項目	TMR給与前 (分離給与)	TMR給与後（3週目）	
		試験区	対照区
乳量(kg/日)	24.7±5.1	24.9±4.3	25.5±4.2
乳脂肪率(%)	3.7±0.2	4.1±0.5	3.6±0.7
乳蛋白質率(%)	3.2±0.2	3.7±0.3	3.6±0.3
乳糖率(%)	4.4±0.1	4.3±0.2	4.4±0.2
無脂固形率(%)	8.6±0.3	9.1±0.4	9.0±0.3
MUN(mg/dl)	12.3±1.7	13.3±3.4	11.9±2.1

注) 平均値±標準偏差 両区間に有意差なし(p≥0.05、Studentのt検定)
注) 泌乳中期以降の供試牛各6頭(3頭×2)を2群分け5週間(馴致期間2週間含む)で反転
注) 給与時期は9月上旬～11月下旬

【成果の内容】

- トウモロコシ子実サイレージを濃厚飼料の37.5%（重量比）置き換えた発酵混合飼料の栄養成分は可消化養分総量（TDN）66%、粗タンパク質（CP）16%です。（表1、表2、図2）
- 乳牛用としてトウモロコシ子実サイレージ発酵混合飼料は乳量、乳成分及び乾物摂取量に影響なく発酵混合飼料の原料として利用することができます。（表3）

福島の大自然とみつばちからの恵み

天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502
福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）
TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565

美容と健康に
おいしく
はちみつはいかが！

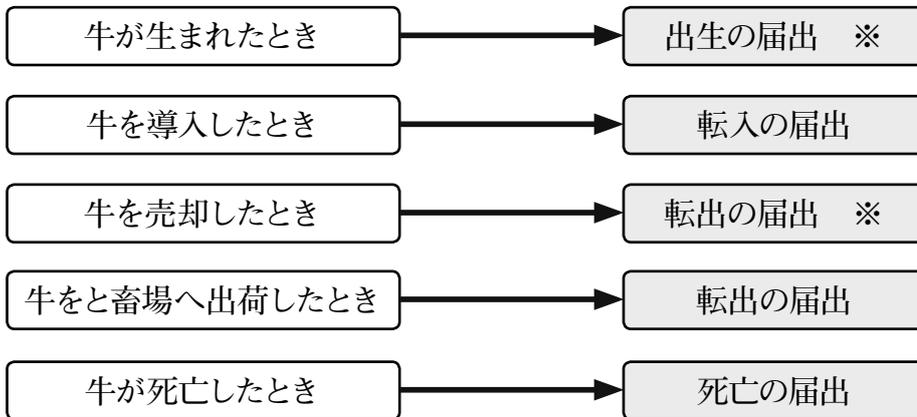
酪農家、肉用牛農家の皆様へ 牛トレーサビリティの異動届出をお願いします

福島県農業共済組合

新制度の家畜共済では、共済掛金期間終了後に1年間の飼養実績に基づき共済掛金等を再計算し、加入申込時の共済掛金等との差額を算定する期末調整を行います。この時の1年間の飼養実績は、牛トレーサビリティの情報を基に

算定されますので、牛トレーサビリティに牛の異動の届出を速やかに、かつ正確に報告されていなければなりません。家畜共済の円滑かつ正確な運営を行うため、牛トレーサビリティへの異動の届出をよろしくお願いします。

こんなときは、家畜改良センターに届出が必要です



※ 黒毛和種の生産検査や家畜市場への出荷で農業協同組合等に届出の代行業を依頼している場合は、個人の届出は必要ありません。転入・転出・死亡の届出方法が不明な場合は、所轄の農業協同組合等にお問い合わせください。

会員募集!

うつくしま福島畜産 mother's クラブ e-EN イーエン

マザーズクラブは、福島県内の畜産に携わる女性が飼養畜種を越えて、「日頃の思いを発信する場」、「お互いの情報交流・研鑽の場」、「消費者との交流や子供たちへの生命教育等の活動をする場」として集い、技術向上や担い手としての意識の高揚等、積極的な経営参画並びに将来の経営に夢や希望意欲を持って専念できるよう、生産者相互の交流に資するための活動をしています。

初セリで牛鍋を作り、福島の畜産を元気にするための活動をしています

子供たちへの食育活動をしています

気軽に楽しい集まりです
畜産の仲間で集まり、一緒に楽しい時間を過ごしませんか?

畜産ならではの楽しく美味しい料理講習会もあります

オリジナル商品の開発・販売も楽しいですよ

入会金・年会費とも無料ですので、入会ご希望の方は公益社団法人福島県畜産振興協会のHPより入会申込書を印刷し、必要事項をご記入の上、提出をお願いします。

または、担当：福島県畜産振興協会 野田 (024-573-0514) までご連絡ください。

畜 産 福 島

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン制度） 発動状況

（単位：円）

販売月		肉専用種（福島県）	交雑種（全国）	乳用種（全国）
令和元年10月	確定単価	26,045.1	15,271.2	48,722.4
	概算払い単価	22,045.1	11,271.2	44,722.4
	精算払い単価	4,000.0	4,000.0	4,000.0
令和元年11月	確定単価	—	356.4	53,726.4
	概算払い単価	—	—	49,726.4
	精算払い単価	—	356.4	4,000.0
令和元年12月	確定単価	27,408.60	—	63,042.3

肉用子牛生産者補給金制度発動状況 令和元年度第3四半期（令和元年10月～12月）

（単位：円／頭）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均売買価格	759,900	630,800	294,100	240,300	419,600
補給金単価	—	—	25,900	—	—

令和元年度第3四半期においては、「その他の肉専用種」について、生産者補給金が交付されることとなった。
【本県の交付状況】 交付対象頭数 4頭 交付金額合計 103,600円

御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用 各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎（〇二四三）六三一・二四八八

小田島商事株式会社
福島市鎌田字御町十一の四
☎（〇二四）五五三・一六六七八

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上一一
☎（〇二四）九四五・一三〇六

株式会社アグロジャパン
福島営業部
福島市南中央三丁目五一一
☎（〇二四）五二六・七三〇三

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川三五一
☎（〇二四）五七七・三一二二

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎（〇二四三）六三一・二四八八

「動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう」

●品質と信頼の●

くみあい配合飼料

本 社
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店
〒963-0725 福島営業所
郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

JA全農北日本くみあい飼料株式会社

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!

“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL：0243-33-1101(代)

家畜取引状況報告

令和2年1～2月和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格(円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
1	雌	313	1,145,100	185,900	716,304	290	2,471	291	129	184
	雄									
	去勢	398	1,223,200	139,700	780,223	316	2,469	284	193	205
	計	711	1,223,200	139,700	752,084	304	2,470	287	322	389
2	雌	300	1,556,500	238,700	722,520	284	2,543	285	128	172
	雄									
	去勢	363	1,205,600	399,300	805,379	310	2,602	278	160	203
	計	663	1,556,500	238,700	767,886	298	2,577	281	288	375

令和2年1～2月乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

（税込み）

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格(円)		
			最高	最低	平均
1月 第291回	ホル雄	54	151,800	11,000	96,922
	ホルフリー	2	31,900	13,200	22,550
	F1雌	68	302,500	16,500	221,957
	F1雄	74	309,100	22,000	223,196
	和牛雌	2	429,000	391,600	410,300
	和牛雄	11	634,700	520,300	594,800
	和牛去勢	0			
	計・平均	211	634,700	11,000	209,725
2月 第292回	ホル雄	66	178,200	17,600	134,267
	ホルフリー	4	96,800	56,100	72,875
	F1雌	81	302,500	88,000	249,374
	F1雄	74	358,600	83,600	278,969
	和牛雌	2	680,900	576,400	628,650
	和牛雄	19	634,700	308,000	511,905
	和牛去勢	0			
	計・平均	246	680,900	17,600	247,885

令和2年1～2月乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格(円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
1	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	8	523,600	429,000	481,525	5,213	92
	E T 和雄	6	636,900	447,700	563,016	5,012	112
	乳雌牛						
	乳雄牛	27	132,000	38,500	96,556	1,261	77
	乳去勢子						
	F1雌(育成)						
	F1去(育成)						
	F1雌(スモール)	52	293,700	95,700	211,094	2,911	73
	F1雄(スモール)	67	301,400	138,600	240,604	3,119	77
計・平均	160	636,900	38,500	230,842	2,973	78	
2	乳登						
	妊娠牛						
	E T 和雌	4	619,300	404,800	507,925	5,117	99
	E T 和雄	8	620,400	443,300	539,550	4,910	110
	乳雌牛						
	乳雄牛	30	102,300	22,000	78,136	1,002	78
	乳去勢子						
	F1雌(育成)						
	F1去(育成)						
	F1雌(スモール)	40	289,300	23,100	236,308	3,339	71
	F1雄(スモール)	67	310,200	66,000	243,117	3,315	73
計・平均	149	620,400	22,000	231,096	3,032	76	

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね



県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
Tel 024-573-0515
Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(4月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
ニュートラック 福島		笠松	船橋			水沢	名古屋	大井					水沢	笠松	川崎					水沢	名古屋	浦和					水沢	笠松	大井	
オーブス磐梯		船橋				大井							川崎							浦和							大井			

(5月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
ニュートラック 福島	笠松	大井		水沢	船橋	笠松					水沢	名古屋	川崎					盛岡	笠松					盛岡	名古屋	浦和					
オーブス磐梯	大井			船橋							川崎							大井							浦和						



※ 発売日程は、変更になることがあります。
地方競馬の収益金は、畜産振興及び地方財政の改善
に活用されています。



地方競馬全国協会